

第2章 市民協働を取り巻く現状と課題

4 課題の総括と対応の方向性

課題① まちづくり活動を支える多様な人材発掘・育成

⇒ 自治会をはじめとする地域活動団体やNPOなど、まちづくり活動主体における新たな担い手の発掘・育成を行う。
⇒ 若者、退職後のシニア、女性、外国人など、対象に応じたまちづくり活動への意識醸成や活動への参加機会の創出を図る。

課題② 多様なまちづくり活動主体の連携・協力体制の強化

⇒ 防災や地域福祉等の公共的課題に対応するため、包括連携協定など、NPOや事業者等の民間活力を活用する連携・協力体制を強化することにより、共に支え合う社会を構築する。
⇒ まちづくり活動主体の活力維持を図るため、多様な主体が関わる機会の創出や、主体の「見える化」、まちびあ等のコーディネート機能の強化などに取り組むことにより、まちづくり活動主体同士の連携・協力体制を強化する。

課題③ デジタルを活用したまちづくり活動等の活性化

⇒ 自治会役員等の負担軽減や地域活動への参加者・担い手を確保するため、デジタルを活用した効率的な団体運営の検討を行い、自治会等の地域活動団体の維持や地域活動の活性化を図る。
⇒ 誰もが気軽にまちづくり活動に参加できる機会を提供するため、SNSやオンライン等のデジタルによる団体や活動に関する情報発信のほか、デジタルを活用した活動を充実させるなど、まちづくり活動等の活性化を図る。

第3章 計画の基本理念と目標、第4章 施策の展開

1 計画の基本理念
いつまでも かがやき つながり 支えあう 「協働のまちうつのみや」の実現

2 目指すべき姿
市民協働の意識が浸透し、活動が広がっているまち

基本目標	施策の方向性	基本施策・主な事業	活動指標 (R3→R9)
基本目標1 地域社会の一員として自発的な協働意欲が形成されている	<ul style="list-style-type: none"> デジタル等を活用し、ターゲットに応じた周知啓発による協働意識の醸成 体験機会や研修等を通じた、多様な人々の協働意識の啓発 	<p>1-1: 協働を促進する意識づくり</p> <p>【拡充】まちづくり活動参加に向けた意識改革</p> <p>【拡充】時代に即した自治会加入の啓発</p> <p>【新規】女性や女性団体のまちづくり活動への参加意識の啓発</p> <p>【新規】外国人のまちづくり活動への参加意識の啓発</p>	生涯学習センター等における講座の受講者数: 14,026人→50,000人
基本目標2 まちづくり活動へ参加しやすい機会と環境が充実している	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり活動の担い手となる人材の発掘・育成につながる生涯学習等の推進 デジタル等を活用した、多様な人々がまちづくり活動に参加しやすい仕組みの構築 	<p>2-1: 参加しやすい機会の提供</p> <p>【新規】地域における女性リーダー育成</p> <p>【継続】まちづくり活動応援事業</p> <p>2-2: 参加しやすい環境の充実</p> <p>【新規】「宮デジサポーター」養成事業</p> <p>【新規】外国人のまちづくり活動への参加促進</p> <p>【新規】新たな担い手確保に向けた人材育成</p>	<p>まちづくり活動応援事業活動参加者数: 3,825人→11,000人</p> <p>まちづくり活動応援事業登録活動数: 1,254件→2,800件</p>
基本目標3 まちづくり活動団体の活力が維持されている	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会を支え合う多様な主体同士の連携・協力による地域活動団体の組織力強化などにつながる取組の推進 発掘、育成した人材や生涯学習の成果をまちづくり活動へとつなげる仕組みの創出 地域コミュニティの根幹を成す、地域活動団体へのデジタル化等の支援 	<p>3-1: 団体同士の連携・協力の機会創出</p> <p>【新規】地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業</p> <p>【新規】「うつのみやデジタルスクエア」を通じたデジタルリテラシーの啓発</p> <p>3-2: 団体の育成・強化</p> <p>【拡充】自治会活動の活性化及び加入促進に向けた取組の強化</p> <p>【新規】地域デジタル化の推進</p> <p>【新規】女性や女性団体の活躍に向けた支援</p>	<p>市民活動助成団体数: 17団体→20団体</p> <p>「うつのみやデジタルスクエア」におけるデジタル活用事例の掲載数(累計) 3件→50件</p> <p>自治会加入世帯数: 148,370世帯→150,000世帯</p>
基本目標4 まちづくり活動主体の連携・協力が広がっている	<ul style="list-style-type: none"> 適切な役割分担の下での、NPOや事業者等との連携強化 まちびあや地域行政機関等による地域課題の解決に向けたコーディネート機能の強化 まちびあや地域行政機関、まちづくり活動主体、関係機関とのネットワークづくりの推進 	<p>4-1: 民間活力の活用促進</p> <p>【拡充】公民連携事業の推進</p> <p>【拡充】NPO等による地域課題等への取組の推進</p> <p>4-2: コーディネート機能強化</p> <p>【継続】多様な活動主体への参加促進支援事業</p> <p>4-3: ネットワークづくり</p> <p>【継続】多様な活動主体の連携支援事業</p>	<p>公民連携デスクにおける相談件数: 30件→30件</p> <p>まちびあ相談件数: 426件→600件</p>

成果指標

「まちづくり活動※に参加している」市民の割合

まちづくり活動への参加機会を生み出す仕組の構築により、活動に参加している市民の割合を増やします。

令和3年度(実績)	令和9年度
29.5%	35%

※ まちづくり活動: 自治会活動, 子ども会・育成会活動, 地域清掃, 河川愛護, 里山保活動 等

第5章 計画の推進

1 計画の進行管理

庁内における「市民協働推進委員会」での進捗確認, 協議・検討, 庁外における「みんなでまちづくり会議」で報告

2 計画の推進体制

・ 「まちびあ」及び地域行政機関を核とした支援機能の発揮
・ 地域情報の集約と「まちびあ」との連携